

## 防音・音響に特化し「快適な音環境づくり」を手掛け、実績4,000件以上 海外で気がついた日本の音環境への意識の遅れ 音ストレスに囲まれた日本の生活環境に「最適な音環境」を提案

防音・音響に特化した設計・施工を行い、「快適な音環境づくり」を提案する環境スペース（本社：東京都渋谷区、代表：嶺島 伸治）は、プロ仕様のスタジオや大規模な音楽ホールから、個人宅のオーディオルーム・シアタールーム、騒音問題に悩む工場まで、環境にあわせた音環境の提案・課題解決を行っています。代表の嶺島は大学で建築を学び、店舗設計・施工の仕事を経て、2003年に環境スペースを立ち上げました。当社では防音・音響に特化した設計施工を行い、これまでに4,000件以上の実績があります。当社では、一般的な生活環境にこそ快適な音環境づくりが必要と考えており、プロ仕様のスタジオや大規模な音楽ホールといった特別な施設だけでなく、手術室やクリニックなどの医療機関、教育施設、オフィス、騒音問題に悩む工場まで多岐にわたります。

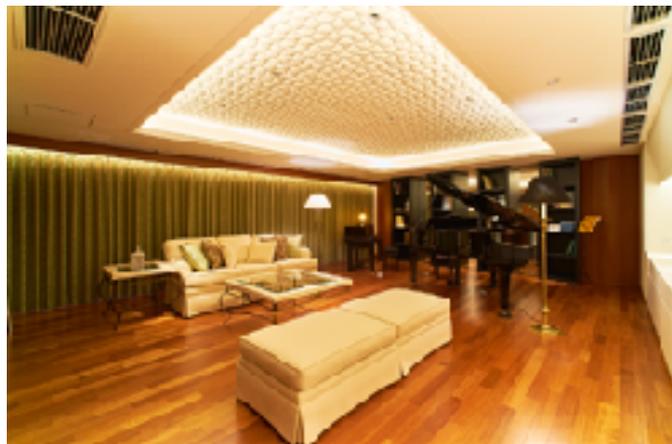


環境スペース株式会社 代表取締役  
嶺島 伸治（みねしま しんじ）

1961年 5月29日、東京生まれ。日本大学理工学部卒業後、設計施工会社に勤務、大手店舗の内装などに従事。2003年に環境スペース株式会社を創業し代表取締役就任、現在に至る。  
座右の銘は「笑顔が一番！」。

### 残響音や音ストレスに囲まれた日本の生活環境を変えたい それまでにない「音環境づくり」と「空間デザイン」の両社を兼ね備えた施工会社 を目指し設立

大学で建築を学んだ後、嶺島は大手店舗の内装など店舗設計・施工に従事していました。当時、ピアノを自宅に置き周囲の環境を気にせず演奏したいという声を度々耳にしました。当時、自宅にピアノ室を希望するようなお客さまの多くはモダンで洗練された方が多く、防音・音響だけでなく、空間デザインの高い建築センスと知識が必要とされました。しかし、なかなかその両方を実現できる施工会社はありませんでした。特に防音だけでなく、音響にまで精通し、それらを実現する緻密な設計と施工を一貫してできる会社はなかったのです。そこで嶺島は、2003年「防音と音響」、「空間デザインと建築構造」の両者の専門性を兼ね備えたハイブリットな防音施工業社として環境スペースを設立します。



また、海外における音環境への意識の高さ、立ち遅れる日本の現状も知ることとなり、嶺島の「音環境づくり」へ

**の思いはますます強くなります。**例えばドイツでは、音楽ホールやスタジオといった特別な場所だけではなく、人々の生活空間においても「快適な音響づくり」の基準が設けられています。例えば幼稚園の教室や病院のホールや部屋、診察室などのように、一見音響設計は必要ないと思われるような一般的な生活環境にこそ、音環境の整備が必要と考えられているのです。

日本にもJIS（日本産業規格）がありますが、音響に関する項目はありません。**近代的なビルが建ち並ぶ都心では、残響音が多く、商業施設にしても、特別な空間以外は音の波長は整えられていません。気がつかないうちにこれらの騒音は私たちの日常に入り込み、聴覚からストレスを受け続けている環境なのです。**

海外の実情、日本国内における音環境への意識の低さを痛感し、改めて「一般の建築事務所では対応しきれない付加価値のある音響設計のサービスを、私達の責務として広めていきたい」との思いを強くしました。

## 目には見えない「音環境」をどう伝えるか？施主からのクレームが転機に

当社では測定専門の担当者を在籍させ、音に関する実験器具・測定機器を備え、JIS規格に適合した調査・測定を行うだけではなく、欧米レベルの音環境を目指すなど、空間デザインだけではなく、「防音・音響」に特化した専門技術を強みとしてきました。

しかし、ある時、当社の手掛けた工事に対して、納得できなかった施主から「説明義務違反」というクレームを受けることとなります。この時、嶺島は「高い専門知識や専門技術は他社に負けないが、それだけではいけない。専門性の高い内容を顧客にわかりやすく伝える力も必要だ」と痛感しました。

そこで、嶺島は説明資料の標準化、マニュアルの定型などを進めると同時に、スタッフに対しコミュニケーション能力を高めるための研修をスタートしました。

また、2019年には、本格的な音響防音スタジオ「EBISUTA」をオープンしました。言葉だけでは伝えられない防音・音響の性能を体験していただくショールームとして活用しています。

それまでの防音・音響に関する高い専門性に加え、スタッフのコミュニケーションスキル・提案力の向上、体験型ショールームのオープンにより、快適な音環境を求める多くの方から、要望をいただくようになり、売上を伸ばしていきました。実際、当社を選んだ顧客の多くが「他社よりも説明がわかりやすかった」「ショールームと同じ環境を再現してほしい」との声を寄せてくださいます。

## コロナ禍で人々の音環境への意識が高まり、昨年度は売上10億円を突破

当社では、音楽ホールやスタジオといった特殊な環境だけでなく、医療施設や保育施設、オフィスなどの騒音対策・音響設計も手掛けています。手術室では医師や看護師たちの正確なコミュニケーションが求められ、クリニックでは患者のプライバシーに配慮した空間も求められます。また、オフィス街やマンション内の保育園では防音対策が必要になります。オフィスにおいても良質なコミュニケーションのために海外同様、音環境に配慮した設計を求める声も増えてきました。嶺島が海外で学び、かねてより提案してきた「生活環境における快適な音響づくり」が年々求められるようになったのです。

コロナ禍は、人々の生活環境における音への意識に変化をもたらしました。それまで気がつかなかった騒音や生活



音、ノイズに気がついた方も多く、マンションでの騒音トラブルなども多数寄せられました。同じ空間で意思疎通をするコミュニケーションとは異なり、違う環境の相手とPC越しにコミュニケーションをとるオンライン会議が浸透し、自身取り囲む環境の「音」に意識を向けた方も多いようです。コロナ禍ではスタジオなどの大型物件が止まるなど一時的に売り上げを落としたものの、その後は順調に売り上げを伸ばし、昨年度は売上10億円を突破、今年度は14億円を超える見込です。

## 全ての人に心地よい音環境を目指し、幅広いシーンで音のユニバーサルデザインを提案

聴覚は人間の持つ五感の中でも最もセンシティブな要素を持ちながらも、注目されにくい分野であり、日本国内では「快適な音環境」について、建築の中であまり重視されてきませんでした。しかし、近年では上記のような医療施設、教育施設、また住まいにおいても人々が意識するようになってきています。すべての人に心地よい音環境を目指す「音のユニバーサルデザイン」として、近年ではホテルなどからも声がかかります。

気がつかないうちに人々が残響音や音ストレスに囲まれてきた日本の生活環境ですが、今後の高齢化の進む社会には、こういった付加価値や豊かさ、身体の奥底から快適と言える空間が必要とされると考えています。今後は幅広い生活シーンにおいて、快適な音環境づくりを提案していきたいと思えます。

### 【環境スペース株式会社 企業概要】

社 名 環境スペース株式会社

代 表 嶺島 伸治

所 在 地 東京都渋谷区恵比寿3-28-12 ATYビル3F

ホームページ <https://www.soundzone.jp/> (商品サイト)

<https://www.kankyospace.com/> (コーポレートサイト)

T E L 03-5795-1215

設 立 2003年9月

事 業 内 容 音響・防音工事、音・室内空気環境の測定、環境騒音対策工事、一般内装工事

### プレスリリースに関する報道関係者お問い合わせ先

広報 担当 : 室 奈織子 (080-9817-5904)

TEL : 03-5795-1215

Fax : 03-5795-1216

n.muro@kankyospace.com